

3.みぢんの 太宰府アートセンター

vol.5 描かれる町

七月、石橋美術館の最後の展覧会「石橋美術館物語」に行きました。この美術館は、充実したコレクションと共に数々の素晴らしい展覧会を安価で鑑賞でき、名画には何度も再会、その度に私は心豊かな気持ちになったものです。幾度も見た絵に今回は別れを惜しみながらしんみり鑑賞していると、久留米ゆかりの画家・高島野十郎の「筑紫観世音寺」が現れました。びっくりしました。ここでご近所の観世音寺に出会うとは、今から六十年あまり前の作品です。緑の草木の間から見えるお寺の講堂と燈籠。今とそれほど変わった様子はないように見える六十数年前の観世音寺。私は今の様子を思い出しながら、しばらく見入ってしまいました。

グラフィックデザイナーの西島伊三雄の油絵が四十年前前に太宰府南小学校に寄贈されました。青々と明るく宝満山が見守る中、田植えが終わったあせんで渡り子ども達が実に楽しそう。宝満山は八女ゆかりの田崎廣助や宗像に美術館を持つ中村琢一も作品を残しています。中村琢一が描いた宝満山の稜線（一目とそれとわかりますよ）や紅葉、麓の川岸は今もそのままのような印象を受けます。

影絵作家の藤城清治は一昨年、天満宮北神苑にあるお石茶屋をリノベーションしました。坂下から描かれた茶店の様子がなんとも軽やかで、いい風を感じます。

見慣れた太宰府の日常の風景がこうして描かれ、これからは選んで描く人が鑑賞する... なんだか誇らしく嬉しい気持ちになります。画家が太宰府にスケッチ旅行に来る。ここにはそんな風土があるのです。これからは太宰府の自然や古刹の趣が描かれてほしい。プロ・アマ問わず、子ども達にも、描きたくてほしいな魅力を持つ町であってほしいと思います。



取材・文 高橋 史子

NPO法人 太宰府アートのたねのご案内

私たち「NPO 法人太宰府アートのたね」は芸術・文化の素晴らしさを広め、豊かな人間関係を築く事業を通して、人にやさしく、アートのあふれるまちづくりに寄与することを目的としています。アーティスト日比野克彦氏をアドバイザーに迎え、2012年に設立することができました。アートを通じて人と人、地域と自然、地域と地域のコミュニケーションを促し、現代社会での「絆」の必要性やあり方について検証を重ねています。それは、ワークショップやアートイベントなどの芸術的な体験を通して、人や社会とつながる幸、仲間がいる心強さ、大切さを実感してもらおうことであり、その個々の喜びの気持が大きな原動力となり、地域社会の活性化が期待できると考えます。アートな体験は、きっとどの世代も安心して暮らせる笑顔あふれるまちづくりの基盤となります。みなさんの心の中にあるアートのたねと一緒に、私たちが成長していきたいと思っています。

会員および賛助会員の募集をしています。※入会金は頂いておりません。
私たちの活動を応援させていただきます。

会員 5,000円 / 賛助会員 一口 10,000円

賛助会員(法人)紹介

NPO 法人太宰府アートのたねは、私たちの活動趣向・目的に賛同していただいた法人・団体および個人によって支えられ、組織や活動が維持されています。心から感謝申し上げます。
※ 賛助会員個人の方のご芳名は、伏せさせていただきます。

太宰府天満宮 〒818-0195 福岡県太宰府市幸府 4-7-1 TEL.092-922-8225	油機エンジニアリング株式会社 〒818-0195 福岡県太宰府市大字 北谷1096番8 TEL.092-920-5501	だざいふ遊園地 〒818-0117 太宰府市幸府4丁目7-8 TEL.092-922-3551
中嶋医院 小児科 〒818-0117 福岡県太宰府市幸府 3-5-7 TEL.092-922-4019	魚肉業 きみひろ 〒818-0125 太宰府市五条4-1-24 TEL.092-929-4466	KenBunkRock 〒815-0075 福岡県 福岡市5-2-22 長丘EMビル101 TEL.092-403-3082

編集後記

みなさまのご支援のもと、5月の総会も無事に終わりました。ありがとうございました。ありがとうございます。わたしたちの活動も少しずつ広がりはじめ、新しい場所でのワークショップの依頼もいただいております。だざいふ遊園地や福岡市内のショールームやCaféでの「ウィンドウストーリー」や朝倉市での「地面に大きな絵を描こう」などです。また、今季から新たに始動しましたサッカーアジア代表のワークショップでは、ワークショップリーダーとして、次のワールドカップまで年間を通して、活動してまいります。ぜひたくさんの方の参加をお待ちしています。(岡村)

お問い合わせ先 / NPO法人太宰府アートのたね TEL. 092-921-3048 mobile. 090-4473-4864 (担当/牟田)

【ウェブサイトもご覧ください】 <http://dazai-fu-artnotane.com>

検索

次号のよこく 2017年2月発行予定。おたのしみに!!

Tane まき新聞

Vol. 05 DAZAIFU ART NO TANE INFORMATION

アートであそぼう!
アートでつながろう!

発行元
NPO法人
太宰府アートのたね

海と子どもとアート

大漁 裸祭り制作と世引組

漁師さんから大切な大漁旗をお借りし、「これは、なんだろう」という出会いから始まり、アーティストやお友達とのディスカッションを経て、漁の安全を祈り豊漁を祝う旗だと知りました。その後、アーティストと共に海の四季を想像し、海と漁師さんへの感謝を込めてオリジナル大漁旗を製作しました。

大漁旗づくり 7月16日(土) 太宰府山かげ亭 (福岡市)

大漁旗づくりと地引組 7月17日(日) マリノア海浜公園 (福岡市)

漁師さんから大切な大漁旗をお借りし、「これは、なんだろう」という出会いから始まり、アーティストやお友達とのディスカッションを経て、漁の安全を祈り豊漁を祝う旗だと知りました。その後、アーティストと共に海の四季を想像し、海と漁師さんへの感謝を込めてオリジナル大漁旗を製作しました。

大漁旗づくり 7月16日(土) 太宰府山かげ亭 (福岡市)

大漁旗づくりと地引組 7月17日(日) マリノア海浜公園 (福岡市)

お天気に恵まれ、大漁旗は漁船に見事にひるがえって、子どもたちは誇らしそうでした。生きた魚を触る機会、大人にも子どもにも貴重で、大きな歓声があちこちで聞かれました。福岡市漁業協同組合煙浜支所のみなさんには、すばらしい体験をありがとうございました。子どもたちもサポートしていただき、「漁師ってかっこいいね」と子どもたちの笑顔が輝いていました。大漁旗づくりを通して、アートのたねのたねのたねを教えたくれた岩田ともさんと松田唯さんには、瀬戸内芸術祭参加中にも関わらず福岡へ来ていただき、素晴らしい時間をありがとうございました。子どもも大人も、日本の伝統的な染の技法と新しいイメージで旗を作る自由な発想力を、大きな感動と共に受け取ることができました。

持っていてほしいと思います。自然始めた事業です。自然の中で、親子でふれあい、楽しく感動的な時間を共有することで、ほんとうに心が通い、海と子どもとアーティスト。これは、自分を取り巻く環境や未知の世界が広がる海の楽しさと不思議さに興味を持ってほしいと思います。

アートユニット ANDNA(アンドナ)

現代アーティストの岩田とも子、布作家 松田唯のアートユニット。瀬戸内国際芸術祭2016 秋会期の栗島芸術家村村と SOKO LABO 枠で参加をします。

岩田とも子 松田唯

二日間で参加者約80人。みんなの笑顔が好評で、日本財団のCMとして8月〜9月放送されました。太宰府アートのたねのウェブサイトで見ることができ、是非ご覧ください!!

http://setouchi-artfest.jp/

瀬戸内国際芸術祭 2016